

2020年9月9日

第134号

発行: 日本臨床検査技師連盟
発行責任者: 梶山 広美
編集担当者: 日技連事務局

日本臨床検査技師連盟ニュース

◆◆ 連盟ニュース ◆◆

今号の主な内容

- ◇ 連盟代表就任挨拶
- ◇ 第69回日本医学検査学会「情勢報告会」開催

連盟代表就任挨拶

令和2年・3年度日本臨床検査技師連盟代表に就任した梶山広美です。

日本臨床検査技師連盟は、一般社団法人日本臨床衛生検査技師会(以下「日臨技」と略す)を設置母体とする政治団体です。「臨床検査の質の向上」及び「法改正」の実現を図り、国民の医療、福祉に寄与することを目的に、平成10年7月設立されました。臨床検査の発展および臨床検査技師制度のため、そして日臨技が掲げる政策を受け目標を実現すべく、臨床検査技師を理解し協力いただく議員連盟を通じて政治にアプローチしていくこと。そして、臨床検査関係組織代表の国政進出と支援に関する活動を行います。

臨床検査は医療(診断)の中で不可欠であり、重要性は検査技術・精度向上により評価されてきましたが、度重なる法改正での臨床検査技師の業務拡大は十分ではありません。臨床検査、臨床検査技師の認知度の向上、社会的立場の向上が重要な取り組みとなります。

日臨技では、今般の新型コロナウイルス感染症対策における課題を踏まえ、人類が経験したことのない未知のウイルスによる感染症について、臨床検査の専門家、職能団体として、常日頃の検査体制整備、維持が必要と考えています。今回の新型コロナウイルス感染症におけるPCR検査で、臨床検査技師がメディア等を通じて報道され、国民のために臨床検査技師が医療、検査の場で寄与しているか、認知度は上がったのではないかと思います。

当政治連盟の課題は、このような日臨技の政策要望を実現していくうえで大きな力を持つことです。そのためにも当技師連盟が出来ることしっかり行っていくことです。臨床検査技師のみなさん、我々の未来を輝かせるために一緒に頑張りましょう。

臨床検査技師を守るため

日本臨床検査技師連盟に入会しよう

日本臨床検査技師連盟の目的は、臨床検査技師の身分、地位向上、職域拡大を目的とし、国会議員へ要望書の提出並びに説明を行い、臨床検査技師等に関する法律(臨検法)の改正並びに施策の実現を目的とし発足いたしました。

平成28年の参議院議員通常選挙において、当会会長の宮島喜文が出馬し、当選を果たし、念願の参議院議員として国会議員が誕生しました。以降、当連盟では、宮島議員と連携し、情報の収集、情勢の変化による政府が打ち出す、医師の働き方改革に関連して対応した活動を行い、臨床検査技師の業務の拡大を目指しています。

入会は、当連盟ホームページからでも可能です。まだ入会されていない方は、ぜひともご理解とご協力をお願いします。

臨床検査技師の未来を拓く

日本臨床検査技師連盟



日本臨床検査技師連盟のホームページ (<http://www.jamt-renmei.org/>)から簡単に入会ができるようになりました。

また日本臨床検査技師会の入会時に同時入会していただきますと自動引き落としが簡単になります。



第69回日本医学検査学会「情勢報告会」開催

去る9月6日第69回日本手続検査学会で「情勢報告会」を開催いたしました。内容については次号にて、お知らせいたします。



2020年

9月6日  10:20-11:50

会場：第一会場（国際会議室）

第1部 情勢等報告

10:20～11:00

「国会議員として5年目を迎えて」

～財務大臣政務官（政府）、自民党国対副委員（党）
それぞれの経験から～

講師：宮島喜文（日本臨床衛生検査技師会会長）

司会：梶山広美（日本臨床検査技師連盟代表）



第2部 議員との対談

11:00～11:50

「これからの医療政策と女性の活躍」

講師：宮島喜文（日本臨床衛生検査技師会会長）

問手：梶山広美（日本臨床検査技師連盟代表）

